

クリーンな作業環境で高品質な部材性能を実現

断面修復用湿式吹付け工法「TDRショット工法」

「TDRショット工法」は、セメント及び細骨材を主成分としたプレミックスタイプの無機系特殊モルタルを現場にて練り混ぜて吹き付ける補修工法です。硬化促進剤を用いることにより、はく落のない安定した厚吹付けが可能であると共に、粉じんやはね返りの発生が少ないクリーンな作業環境を実現します。また、ポリマーセメントモルタルに匹敵する乾燥収縮抵抗性を持つなどの高品質な補修部材の構築が可能です。

「工法の特徴」

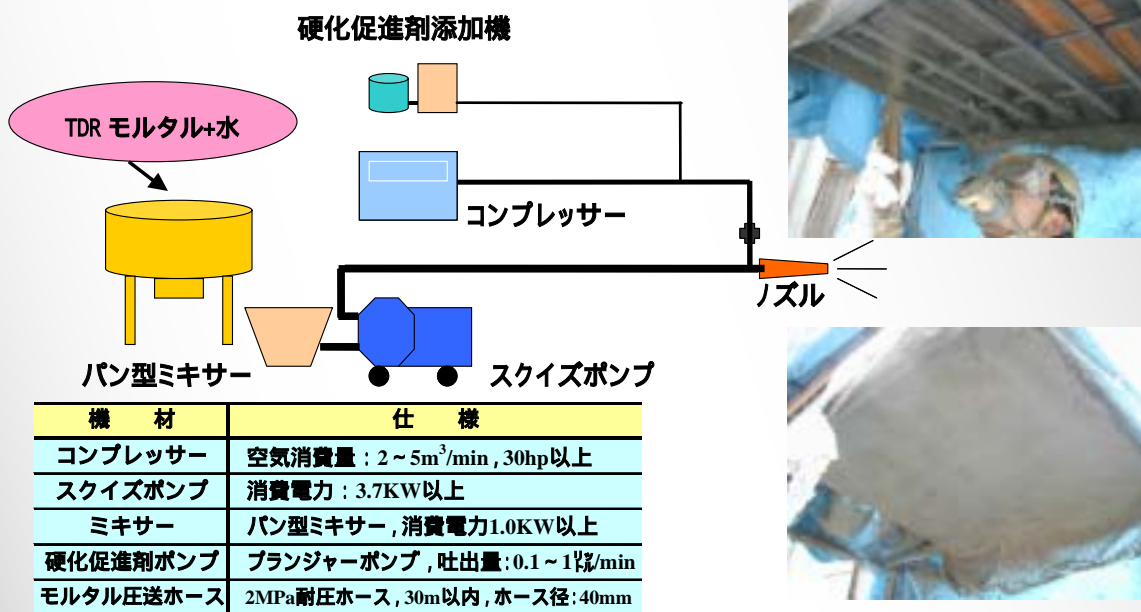
- 粉じんやはね返りの発生が少ない。
- 上向きで 15cm 程度まで厚吹付けが可能。
- ポリマーセメントモルタルに匹敵する乾燥収縮抵抗性を実現。
- 良好な鉄筋背面への充填性を実現。
- コテ仕上げが可能であることから、きれいな部材表面を実現。
- 補強繊維の添加により高いじん性を実現。
- 従来の断面修復用吹付け工法よりローコストを実現。

「高品質な補修部材」

「クリーンな作業環境」

「リーズナブルな価格」

「施工システム一例」



「製品形態」

材料	荷姿	密度 (g/cm ³)	外観
TDRモルタル	25kg紙袋	2.8～2.9	灰色粉
硬化促進剤	25kg缶	1.3～1.35	薄褐色液体

「標準配合」

単用量(kg/m ³)		硬化促進剤 (kg)
TDRモルタル	水	
1900	266	28.5

硬化促進剤添加率：TDRモルタル×0.5～3.0%

「技術データ」

表-1 フレッシュ性状と施工性

フロー (mm)	モルタル吐出量 (m ³ /hr)	はね返り率 (%)
180~210	0.8~1.0	2~5

表-2 強度特性(JHS-416 法)

強度特性	材齢				
	1時間	3時間	1日	7日	28日
圧縮強度(N/mm ²)	0.25	0.44	12.8	30.5	39.0
曲げ強度(N/mm ²)	-	-	3.1	5.9	8.0
付着強度(N/mm ²)	-	-	-	1.6	2.1

養生温度: 20

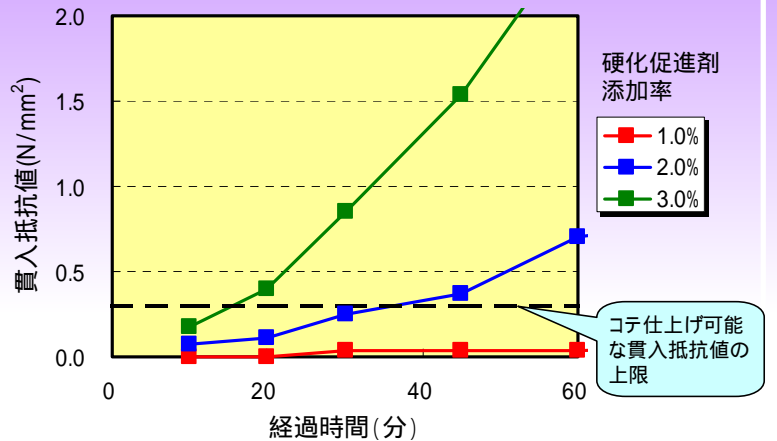


図-1 凝結特性(JSCE-D 102 法)

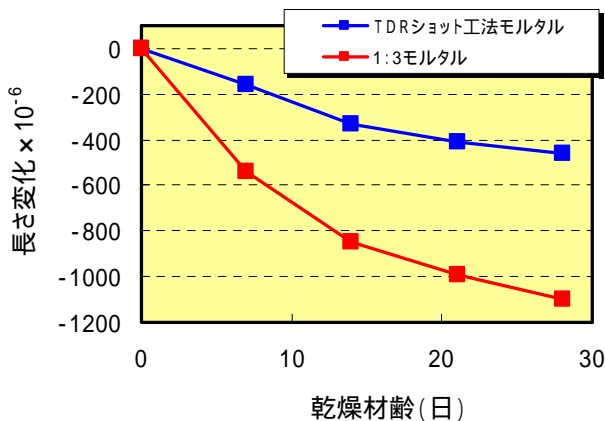


図-2 乾燥収縮抵抗性 (JHS-416 法)

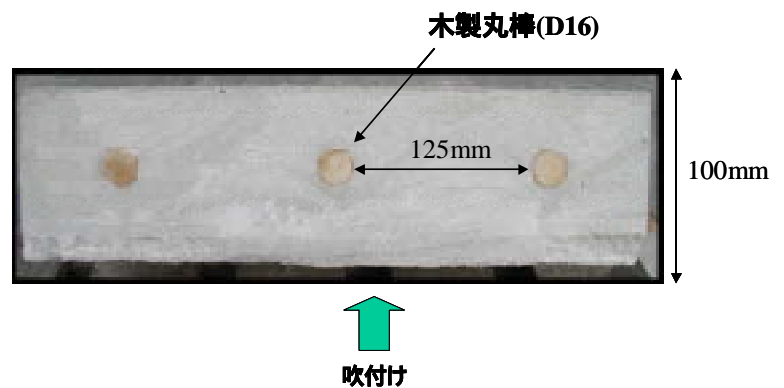
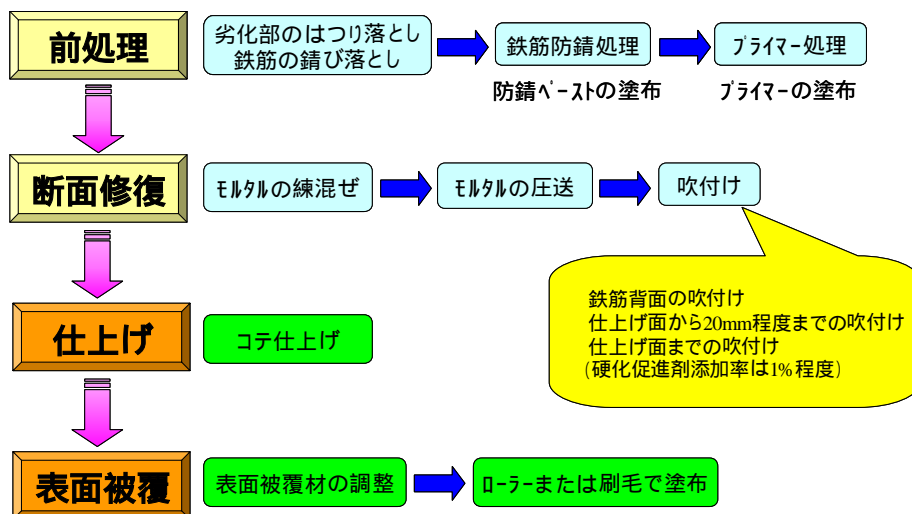


図-3 鉄筋裏の充填状況

「施工手順」



仕上げ及び表面被覆については、要求性能によって実施可能であります。

問い合わせ先

飛島建設株式会社 URL <http://www.tobishima.co.jp/>

土木本部 土木技術部 〒102-8332 東京都千代区三番町 2 番地 TEL 03-3288-6513 FAX 03-5276-2526
 技術研究所 材料研究室 〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬 5472 TEL 04-7198-7559 FAX 04-7198-7586
 本断面修復工法では、電気化学工業(株)より材料供給を受けております。